

令和5年度 第1回春日市教育委員会定例会 議事録

1 開会及び閉会に関する事項

- ① 日 時 令和5年4月26日(水)
開会 午前9時00分
閉会 午前9時58分
- ② 場 所 春日市役所4階404、405会議室

2 出席委員の氏名

教 育 長	扇 弘 行
委 員	安 本 誠 一
委 員	染 原 レイ子
委 員	宮 崎 泰三郎
委 員	足 達 好 子

3 委員を除き会議に出席した者の職氏名

教 育 部 長	金 堂 円一郎
教育総務課長	武 末 竜 久
学校教育課長	今 福 保 幸
地域教育課長	萩 原 裕 之
教育総務課長補佐	小 嶋 健 朗
教育総務課主任	松 尾 高 志

4 議事の概要

別 紙

午前9時00分 開会

【第1 会議録署名委員の指名】

○扇教育長

委員全員出席です。ただいまから令和5年度第1回春日市教育委員会議定例会を始めます。

始めに、会議録署名委員の指名を行います。安本委員を指名いたします。

【第2 議案】

(1) 第1号議案 令和5年度教育費補正予算に関する意見の申出について

○扇教育長

第1号議案 令和5年度教育費補正予算に関する意見の申出についてでございますが、この議案は、内容上、「議会の議決を経るべき議案の原案に関する事項」に該当しますので、春日市教育委員会会議公開規則第4条の規定に基づき、非公開としたいと思っております。それでは、委員の皆様にお諮りいたします。第1号議案を非公開とすることについて、賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○扇教育長

全員賛成により第1号議案は非公開とします。

- ・第1号議案は、非公開。
- ・審議の結果、第1号議案は、全員賛成により可決。

【第3 報告事項】

(1) 教育長報告

○扇教育長

次に、報告事項です。

4月5日開催の臨時校長会での内容を一部ご紹介いたします。

現在の課題は、魅力ある職業として光輝いた教職が、欠員状態が続き、輝きを失いつつあることと考えております。

今後の方策として、児童生徒の発達段階に応じた個別最適な指導とすること。指導方針を鍛錬から育成へと切り替えること。児童生徒の目標像となる教師のあるべき姿を提示すること。新規採用教員の資質に応じた柔軟な指導を初任者指導教員に任せず、学校全体で育成することとしております。

特に初任者は、中長期的な育成を目指し、最初の学校配置は3年間で第1期として同一校で、次の3年を第2期とし、本人の特性に応じて市内の各校で再配置して、全体で育成していくようなかたちを想定しております。

校長の役割として、地域との窓口としての自覚を持っていただき、地域や保護者から信頼される存在となるべきです。そして、メッセンジャーとして学校の教育活動を発信していくことも重要です。さらに、学校と教育委員会との間を取り持つ存在、パートナーとして関係を築いていただきたいといったことを伝えております。

また、今年度から特別支援教育担当の指導主幹を配置しております。

特別支援教育に関しては、次のような課題があるのではないかと考えられます。

個々の児童生徒の発達課題に対する対応能力・対処法等が発達段階に応じて身に付いているのか。行きづらさや苦しさから不登校率が高いのではないかと。各校で特別支援学級が急増。判定をする支援委員会にかかる数も増加し、支援員も増加。この背景の分析。特別支援学級での個に応じた学習指導が支援計画と連動しているのか。特別支援学級の教員間、担任との情報共有ができていないか。指導教職員不足から定数欠講師に頼りすぎているか等です。

特別支援教育は、就学前教育での子どもの特性に応じた支援・指導が大切なのではないかと考えております。

新春日市不登校等総合対策5カ年計画として、小学校段階での支援で、教育相談員を順次配置し、各校1名ずつ付ける。各校のスマイルルームの順次設置。中学校ではマイスクールのサテライト化によりスマイルルームを活用できないかなどを検討しております。

また、フリースクール等との連携支援として、教育支援センター内設置のマイスクールの在宅制の周知、スクーリングへの参加、教材・教具等の支援等がございます。

次に、中学校の体育発表会についてです。令和の運動会として、5つのS、入退場の同時進行等でのスピーディー、体育科学習内容のスタディー、成果としてサクセス、最大4時間以内の実施としてショートカット、熱中症対策等の安全策のセイフティーを念頭に、学校運営協議会やPTAと熟議の上、実施をするようにしております。

また、行事やイベント時にふさわしい音楽を流すことで、その場の雰囲気を作ることができるのではないかと考えております。それぞれの学校に、雑然とせず常に動きの流れがあるものにするようにとっております。

そして、これからの春日市教育改革の方向についてでございます。

ムリ・ムラ・ムダの排除。セーフティネット作り。また、本年度から来年度にかけては特に視覚化する教育課程への挑戦をすることとしております。

まず、小1プロブレム解消へ向けた方策として、アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムを実施いたします。

それから、ハードランディング・ハードテイクオフからソフトランディング・ソフトテイクオフへの移行。徐々にペースを変えていくことで子ども達の負担感を減らします。

市内全校が2学期制となりましたが、特に中学三年生については高校入試に合ったスケジュールでの評価をしていただきたいと考えております。夏休み前に前期前半の評価、前期終了時に前期全体の評価、冬休み前に後期前半の評価、後期終了時に後期全体の評価の仕組みを作って、実践をするよう校長に依頼しております。

また、通過テストの実施について、まずは算数と国語で行うことを考えております。できないことをそのままにせず、現在の履修主義に修得主義を加えるようなかたちで、学年の最後に、できていないところを取り戻せるようにしたいと思っております。

また、置き勉の推奨をしております。これは継続的に行ってまいります。

春日北中学校の通学路安全確保。精華女子短期大学との協力ができないか検討しております。信号機に関して警察との調整や整備費用等の問題もありますが、安全のためにできるだけ尽力したいと思います。

以上報告でございます。何か質疑はございますか。

○安本委員

教員不足に関して、採用の問題解決は春日市単独では難しいのではないのでしょうか。国や県の方針確認や厳しい現場の実態を情報提供していくなどが必要かと思えます。

働き方改革としても、ムリ・ムラ・ムダを排除することは重要だと考えます。業務量の可視化により、実績が見えるようにすることも大切ではないのでしょうか。

通過テストには賛成です。大学で教えていても、特定の課程を理解しないまま進学したと思われる学生がいるような現状です。

○染原委員

通過テストをする上で、先生たちの意識として、できないことがダメだということではなく、どのようにすればわかるようにできるだろうかという感覚でいてほしいです。全部できるようにするのではなく、一定の合格ラインを設ける等、全て理解させるというより、最低限修得してほしいところを押さえていくようにしていただきたいと思います。教える方法としても、視覚化した方がいいのか聞いた方がいいのか、それぞれの児童に合ったものを考えてもらえたらと思います。

○扇教育長

児童とのかかわりに関し、発達支援室との連携を進めていきたいと思えます。

(2) 教育委員報告

○安本委員

入学式の時間割を見ると、式に要する時間が学校によって異なっています。こういった理由なのでしょうか。

○扇教育長

児童生徒の数による部分だと思われます。人数が多い学校の入退場や呼名に時間を要するためでございます。

○安本委員

内容が異なっているというわけではないのですね。わかりました。

(3) 主要行事報告

○扇教育長

主要行事報告について、報告がありましたらお願いします。

○今福学校教育課長

市内六中学校の体育会が5月21日に行われます。

○萩原地域教育課長

地域教育課が主催するかすが家庭教育学級子育て講座が、年8回開催されます。1回目が5月17日に行われます。

【第4 調整事項】

(1) 5月定例教育委員会議の日程について

令和5年5月24日（水） 午前9時 決定

(2) 6月定例教育委員会議の日程について

令和5年6月28日（水） 午前9時 予定

(3) 5月教育委員懇談会の日程について

令和5年5月24日（水） 午前10時 決定

(4) 6月教育委員懇談会の日程について

令和5年6月28日（水） 午前10時 予定

午前9時58分 閉会